



2023年10月31日

各 位

会 社 名 日本軽金属ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 岡本 一郎
(コード番号 5703 東証プライム)
問 合 せ 先 企画統括室 広報・IR担当 石川 千津
(電 話 03-6810-7160)

2024年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績の差異 および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2023年7月31日に公表いたしました2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の第2四半期連結累計期間業績予想と本日公表いたしました連結決算の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、2024年3月期第2四半期連結会計期間において、下記のとおり堆積土砂対策に係る特別損失を計上することをお知らせいたします。

記

1. 第2四半期累計期間の連結業績予想と実績の差異について (2023年4月1日～2023年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|------------------------------|---------|--------|--------|--------------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 250,000 | 4,000 | 4,500 | 2,000 | 32.30 |
| 実績値(B) | 250,452 | 5,681 | 6,689 | 2,144 | 34.62 |
| 増減額 (B-A) | +452 | +1,681 | +2,189 | +144 | — |
| 増減率 (%) | +0.2 | +42.0 | +48.6 | +7.2 | — |
| (ご参考)前期実績 (2023年3月期第2四半期) | 253,094 | 3,657 | 5,207 | 3,804 | 61.44 |

差異の理由

第2四半期累計期間の連結業績は、板、押出製品が半導体関連の需要調整や中国における押出製品など自動車向けの減速による影響があったものの、パネルシステム部門の好調、および輸送関連部門のトラック架装事業や箔、粉末製品の回復などにより、営業利益、経常利益が前回（2023年7月31日）発表予想を上回りました。

通期の業績予想につきましては、第3四半期以降、パネルシステム部門は好調が継続し、トラック架装関連および国内自動車向けなどは回復が進む一方で、半導体関連の需要回復時期や中国における自動車関連の需要見通しなどに不透明感があることから、2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期の連結業績予想を据え置いております。

なお、2024年3月期の配当予想（1株当たり中間配当10円、期末配当40円）の変更はありません。

2. 特別損失の内容

当社子会社である日本軽金属株式会社が保有する雨畑ダム（山梨県南巨摩郡早川町）上流の雨畑川の水位が2019年8月の台風10号、同年10月の台風19号などによる豪雨の影響を受け上昇したことにより、周辺地域で浸水被害が発生しました。

2020年4月に国土交通省、山梨県、早川町とともに周辺地域における浸水被害発生に対する応急対策、および堆積土砂の抜本対策についての雨畑ダム堆砂対策基本計画書を取り纏め、2020～21年度の短期計画を完了しました。現在、2022～24年度の中期計画を進めていますが、基本計画の進捗等に伴い、土砂搬出に新たな工程等を追加する必要があると判明したことにより、堆砂対策費用17億96百万円を特別損失に計上することを本日開催の取締役会において決議いたしました。

以 上